



いいで町

号外

議会だより



女性から町政へ活発な意見が……

議会活性化調査検討
特別委員会

まとめ	P 2
小委員会の報告	P 3
公聴部会報告	P 4～5
調査部会報告	P 6～8

議会活性化調査検討特別委員会 まとめ



平成27年12月から5回の委員会及び小委員会を4回、公聴部会11回、公聴会4回、調査部会を11回開催した。各年代層から公聴する公聴部会、全戸にアンケート調査を依頼した調査部会、処遇改善等について調査した小委員会、置賜各市町議会から資料を提供いただき、それらを基に調査検討を行なった。

町民からの意見とし

て、「身近な議会」「わかりやすい議会」「開かれた議会」を目指して、町民の意見に耳を傾け、町民を代表し政策の決定、行政への監視と評価を行い、さらに、政策立案及び政策提言のために、議会議員は資質の向上を図りながら議会改革に取り組むべき、との意見が数多く出された。飯豊町議会基本条例に基づき、「政策提言」や「みなさんと語る会」をさらに充実発展させ、町民の意見等を反映することが町民の福祉向上や町政の発展はもとより、議会に対する信頼と関心をより一層進め、深めていくこととなる。



現状をとらえて（成年層）

設置目的

地方選挙、とりわけ地方議会選挙への関心の低さから、無投票当選が全国的に多い現状であり、また、一昨年に実施された当議会議員選挙においても無投票であった。

このことから、地方政治への関心を高め、地方選挙、地方議会の活性化について調査検討する。

調査期間

平成27年12月15日から29年3月14日まで。

委員会の構成

議長を除く議員9名で構成することとし、委員長に嶋貫栄助、副委員長に鈴木敏夫を選任した。

以上のことから、本委員会の設置目的である地方議会に関心をもち、持つてもらうことと、議員のなり手不足に対応するためには、今後、



小委員会の報告

4名で構成する小委員会は4回開催し、4項目について調査研究しました。

①議員定数について

公聴部会、調査部会で多数の意見を伺ったところ、減らすべき、増やすべき、現状のままの様々な意見があった。

当委員会としては、従来のように人口減に

合わせ削減すれば、常任委員会や議会が正常に機能しなくなることから、現在の議員定数を維持すべきであるとした。

②議員報酬について

町民の意見としては、減らすべき、増やすべき、現状のままとの意見があった。

置賜各市町の資料等を調査・検討した結果、本町が一番低い現状であったことから、置賜各市町並みに引き上げる必要がある。また、期末手当の加算率についても他市町並みにすべきであるとした。

③費用弁償等について

置賜各市町で、日当が支給されていないのは本町のみという現状であり、他市町並みに処遇改善を図るべきである。

④議会の広報広聴活動について



将来のまちを見据えて（20歳未満層）

「みなさんと語る会」を開催しているが、開催方法や対象者を再考し、意見の集約、議会の活動内容を広く伝える必要がある。

まとめ

上記の4項目と併せ、議員年金制度がなくなったことも、議会に魅力がなくなり、議員のなり手不足の要因のひとつとなっています。今後、年金制度については、関係機関に陳情、要望活動を実施し、制度の復活を願うものです。議会議員は、自らの資質向上のため、高い識見を養うよう、精進していくことを自覚する必要があります。

小委員会委員名

- 鈴木 敏夫
- 長沼 桂子
- 山口 文隆
- 古山 繁巳



豊かな経験をいかして（高齢者層）

報告 (出された意見等)

女性層

①年4回の定例会のほか、議員としてどのような活動があるのか。

②若い人にとって、税金が高く大変なので、人口減少対策の取り組みとして、負担軽減を考えていないか。

③議員と町民の関係が離れており、議員活動が理解できない。町民の代表であるのはわかるが、議員と接する機会が少ないので、もう少し地域に入って話をしてほしい。

④特に若い人の話をたくさん聞いて、子育て世代を後押ししてほしい。それが町の活性化につながると

思う。

⑤私たちの生活では聞いたりすることがない言葉が多い。本町には障がい児に関する施設がない。もつと障がい者を理解し、本人や家族をサポートしてほしい。

⑥本町をどのようにしたいのか。一人ひとりに聞きたい。特に無投票だったため、議員の考えがわからない。

⑦議会で「みなさんと語る会」を実施しているということだが、地区の役員だけが出席している。参加できない方々の声も拾ってほしい。アンケート調査など実施してほしい。

⑧福島県から震災後に飯豊町に移り住み、保育料や医療費

等、様々な子育て支援策を実施していることは大変ありがたい。しかし、交通の便が悪く、高校生の通学に支障をきたしている。バス等を行するなどの対応を。

⑨店舗が少なく、欲しいものが手に入らない。大型店があればと思う。

⑩子どもを遊ばせる場所がない。

⑪高齢になって自動車の運転ができなくなり、生活も大変になるので、老人アパート等が欲しい。

⑫今回参加し、議員活動に関心を持った。こういう公聴会を数多く開催し、若い人から高齢者までの色々な話を聞いてほしい。

成年層

①議員のなり手不足は、議員の報酬が安いからではないか。現在の議員は、リタイア後の方々だから不満はないと思うが、子育て世代の30〜40代は生活できない。選挙の時には経費もかかるのでは。

②地域の小間使いでなく、町全体を考えられる人格者が議員になるべきと思うが、現実は地域の代弁者であるから魅力がないのではないか。

③人口減少の中、議員の数を減らすべき。8人位がよいのでは。そうすれば議員報酬も上げられるのでは。

④人口減少に歯止めを

かけるには、女性と若い人が必要。議会でも女性の話を聞く場を設けるべき。

⑤行政は、公平・公正などと言っているが、飛び抜けた人、突き抜けた人を優遇して活躍できるように、町を挙げて応援してほしい。

⑥高円寺のアンテナショップの直接販売を利用して、町をPRして結婚に結びつく人が出ればと思う。

⑦「議会だより」をもっと分かり易くしてほしいし、傍聴に行つて聞いたことと、「議会だより」の内容が違っていた。



公聴部会

高齢者層

仕事を辞めても生活できる議員の報酬でないことも一因。40

①議員のいない地区は、議会活動の情報が入りにくい。活動内容をその都度報告して

いただきたい。

②公聴会は、成年・女性といった層でも行なったとのことだが、参加者はどのように選出したのか。

③町長は、施政方針で5つの種を蒔くとのこと。蒔けば芽が出て実が成ると思うが、議会はどのように対応するのか。

④置賜農業高等学校飯豊分校跡地等を活用した、人口増に結びつける魅力あるまちづくりが必要と思うが。

⑤議員のなり手不足は、

仕事を辞めても生活できる議員の報酬でないことも一因。40代、50代の方も立候補できるような報酬にしていくべきである。

⑥他の仕事をしながら議員活動ができるので、議員報酬は増やさずに、定数を増やすように。

⑦教育内容も大きく変化する中で、地元に戻って生活できるような教育も必要では。

⑧政務活動費はいくらか。領収書等を添付しての報告書は出しているのか。

⑨議員として人口減少問題をどうとらえているか。人口が少なければ報酬も上げられないのでは。

⑩地域に議員がいない。

選挙そのものを考える時期に来ているのでは。人口の少ない地区からも議員を選出できるように。

20歳未満層

①参議院選挙で投票したが、不在者投票の手続きが難しかった。

②居住地と住所地が違うため、手続きが大変だったようで、投票した人は学生寮の中でも40人中1人だけだった。

③高校生で選挙権がある人は、顔を見たことがある人、名前を知っていた人に投票したとのことで、政策などは理解せずに投票したとのこと。

④選挙権の付与は、プ

ラスにとらえずにマインナスにとらえる若者が多いと思う。

⑤秋に町長選挙があるが、どれくらいの若者が知っているのか疑問。

⑥議員のなり手不足については、親には議員になるよう勧められそうにない。今日参加して、平均年齢が高く、危機感を感じる。

⑦議員のなり手不足については、親には議員になるよう勧められそうにない。今日参加して、平均年齢が高く、危機感を感じる。



公聴部会のまとめ

公聴部会は、4回に分け、幅広い年代層や男女を問わず開催しました。

「今回、議員と話すことができ、活動内容や大変さがわかった」など、たくさんの参加者からの話を聞くことができ、意義のあるものでした。

今後、数回開催し、議員になっみたいという人々を育てていく責務を痛感しました。

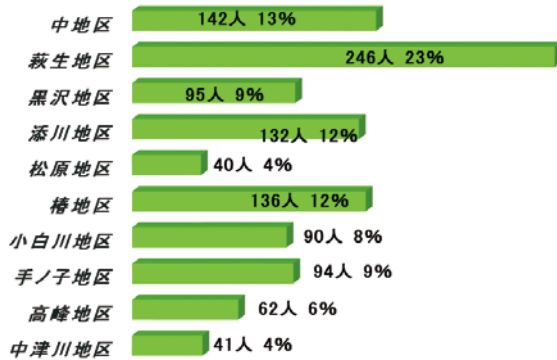
公聴部会委員

- 鈴木 敏夫
- 井上 南
- 長沼 桂子
- 菅野富士雄
- 遠藤 忠

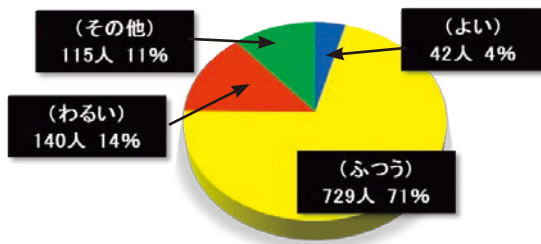
報告

(アンケート結果)

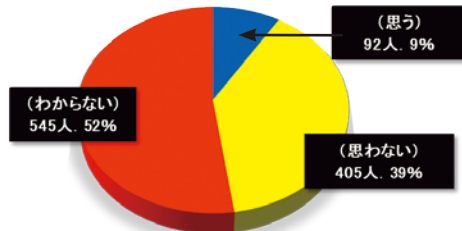
問2 あなたのお住まいを教えてください。
(回答者数 1,078人)



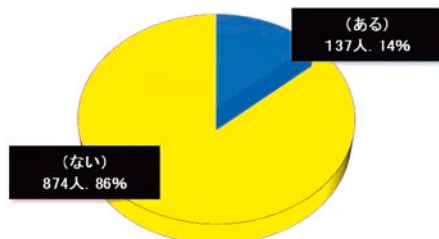
問3 あなたは議会活動に対してどのような印象をお持ちですか。
(回答者数 1,026人)



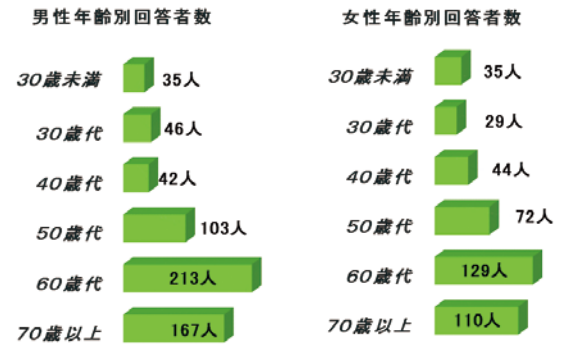
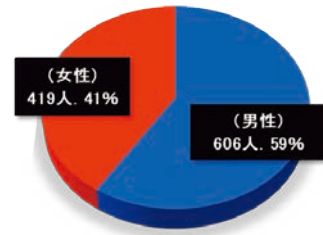
問5 あなたのご意見は、本町議会に反映されていると思いますか。
(回答者数 1,042人)



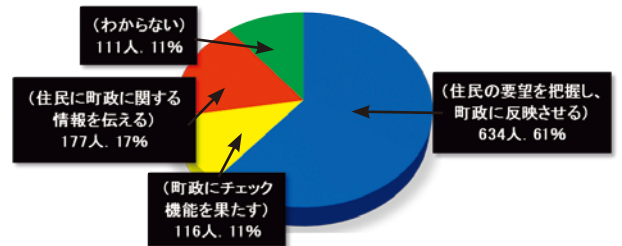
問7 議場で傍聴されたことはありますか。
(回答者数 1,011人)



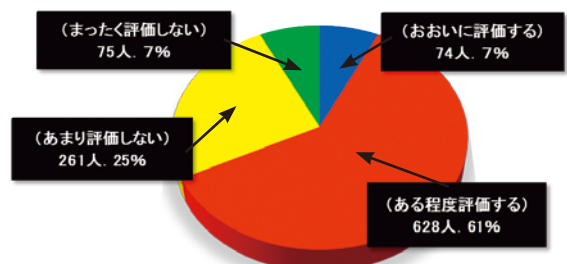
問1 あなたの性別と年代を教えてください。
(回答者数 1,025人)



問4 議会議員にもっとも期待する役割について、どのようにお考えですか。
(回答者数 1,038人)

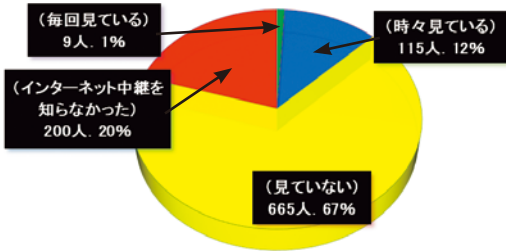


問6 議会では、「会議は原則公開」「意見交換会を行なう」など、議会改革に取り組んで来ましたが、改革をどのように評価していますか。
(回答者数 1,038人)

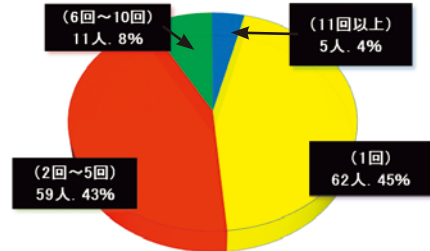


調 査 部 会

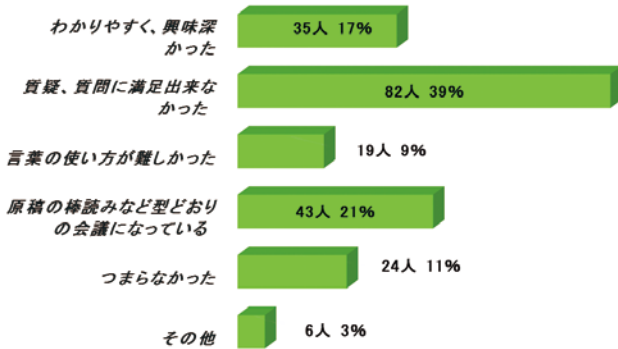
問9 インターネット中継を、見たことがありますか。(回答者数 989人)



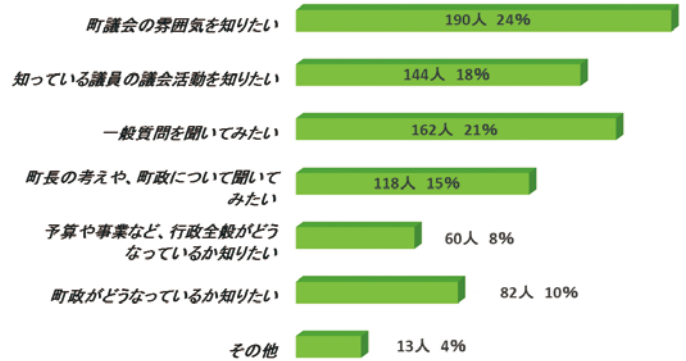
問8 傍聴された回数は何回ですか。(回答者数 137人)



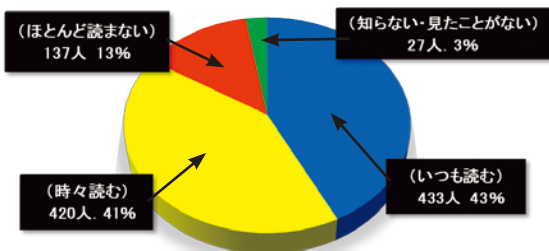
問11 傍聴された方、インターネット中継を見られた方にお尋ねします。その時の印象はどうでしたか。(複数回答可能)(回答者数209人)



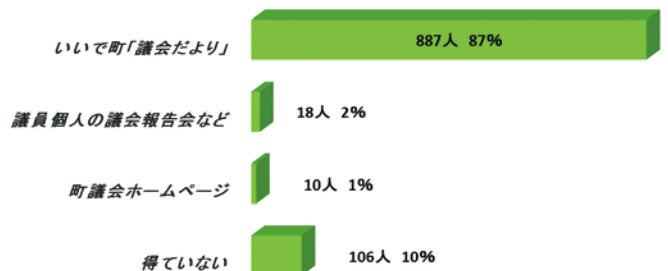
問10 傍聴及び、インターネット中継に、どのような興味をお持ちですか。(回答者数 789人)



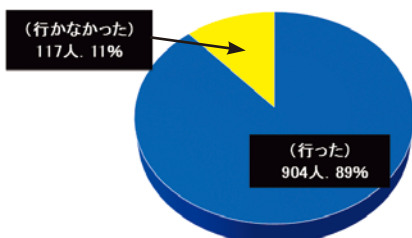
問13 飯豊町「議会だより」(年4回発行)を読まれたことがありますか。また、「議会だより」へのご意見をうかがいます。(回答者数 1,017人)



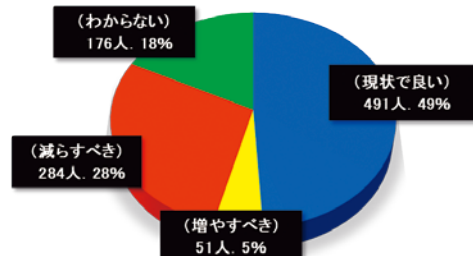
問12 あなたは議会に関する情報をどのようにして得ていますか。(回答者数 1,021人)



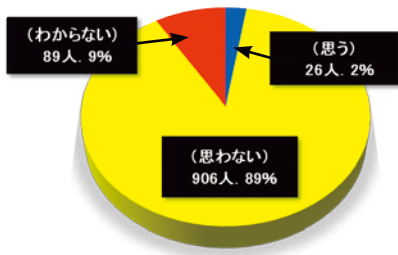
問15 あなたは平成23年の町議会選挙の投票に行きましたか。(回答者数 1,021人)



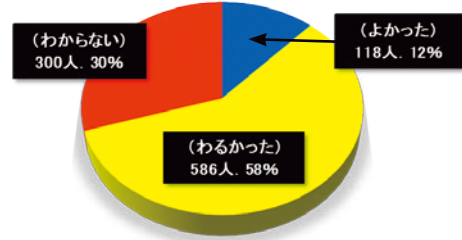
問14 町議会の現在の定数は10名ですが、どう思いますか。(回答者数 1,002人)



問17 あなたは町議会議員に立候補したいと思いますか。(回答者数 1,021人)



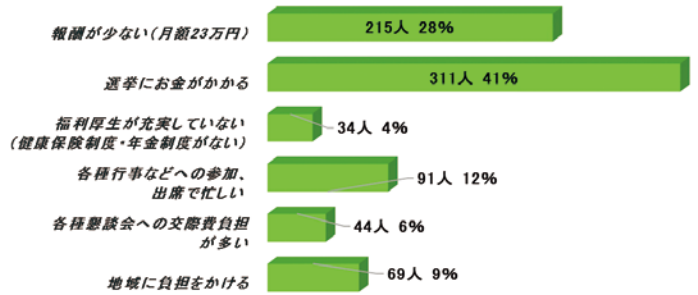
問16 昨年8月任期満了に伴う町議会選挙が、無投票になったことをどう思いますか。(回答者数 1,004人)



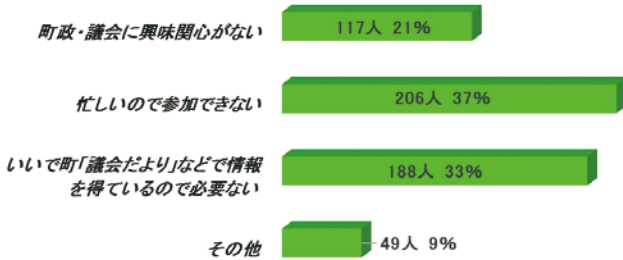
問19 議会では、議員が各地に出向き、議会の経過や結果を説明し、質疑応答や意見交換を行う「みなさんと語る会」を毎年行っています。これからも、みなさんの意見を頂きながら町政に反映させるため、毎年開催を考えています。あなたは参加したいと思いますか。(回答者数 970人)



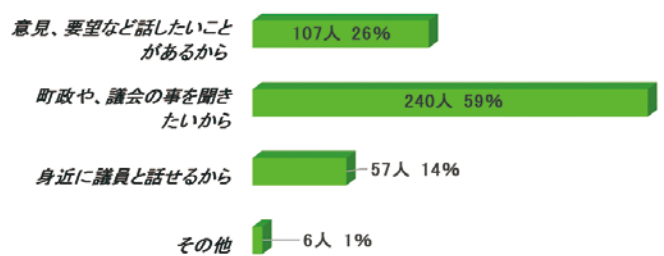
問18 あなたは、議員の立候補者が少ない理由は何だと思えますか。(複数回答可)(回答者数 764人)



問21 「みなさんと語る会」に、参加したいと「思わない」「関心がない」理由を伺います。(回答者数 560人)



問20 「みなさんと語る会」に参加したいと「思う」理由を伺います。(回答者数 410人)



調査部会のみとめ

部会を11回開催し、アンケートの項目、方法、内容を検討しました。部落長等会のご協力を頂き、全世界に2部ずつ配布し、1101人の方から答えていただきました。アンケート調査によって、今後の議会の課題も見ることができたことは、有意義な活動と捉えています。ご協力いただきました皆様方に深く感謝申し上げます。紙面の都合上、文字が小さくなっておりますが、ご理解ください。

お礼の言葉

3月定例議会も閉会し、同時に議会活性化調査検討特別委員会も解散しました。町民の皆さんからいただいた意見・要望等を分かり易く報告させていただきます。皆さんの率直で貴重なご意見を、今後の議会活動に活用し、より町民のための町政になるよう、議員一同頑張っております。この度の御協力に感謝し、お礼の言葉とします。

調査部会委員

嶋貫 栄助
山口 文隆
高橋 亨一
古山 繁巳

発行責任者

議長 後藤恵一郎
委員 井上 南
委員 長沼 桂子
委員 菅野富士雄
委員 山口 文隆